

## 《きっずぽけっとミニ通信 NO. 248 2026年3月発行》

もうすぐ4月、新年度ですね。お子さんは入園、入学など新しい環境となる、ご家庭も多いのではないのでしょうか？そんな嬉しくも忙しくなりそうな時期に思い出してもらえたらと、1つの詩「子どもの話を聞く大切さ」をご紹介します。



### 子どもの話に耳を傾けよう。

きょう、少し

あなたの子供がいおうとしていることに耳を傾けよう。

きょう、聞いてあげよう、あなたがどんなに忙しくても。

さもないと、いつか子供は年老いたあなたの話を聞こうとしなくなる。

子供の悩みや、要求を聞いてあげよう。

どんな些細な勝利の話も、どんなにささやかな行いもほめてあげよう。

おしゃべりを我慢して聞き、一緒に大笑いしてあげよう。

子供に何があったのか、何を求めているかを見つけてあげよう。

そして言ってあげよう、愛していると。毎晩毎晩。

叱ったあとは必ず抱きしめてやり、「大丈夫だ」と言ってやろう。

子供の悪い面ばかりあげつらっていると、そうやってほしくないような人間になってしまう。

だが同じ家族の一員なのが誇らしいと言ってやれば、

子供は自分が成功者だと思って育つ。

きょう少し

あなたの子供が言おうとしていることに耳を傾けよう。

きょう聞いてあげよう、あなたがどんなに忙しくても。

そうすれば、子供もあなたの年老いた過去の栄光に耳を傾けるために、あなたのもとに戻ってくるだろう。

ウェイトリー

『子どもを伸ばす魔法の11カ条』加藤諦三より

